令和 8 年 11 月 4 日

高次救命治療センターに入室された患者さんへ

「　高次救命治療センター入室患者における急性腎障害発症とグライコプロテオームに関する既存試料・情報を用いる研究　」への協力のお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2026 年 6 月 1 日～2026 年 9 月 30 日の間に、当科において、集中治療を受けられた 18 歳以上の方、入室中に複数回の血液検査を実施している方。
研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～　2028 年 3 月 31 日
研究目的・利用方法：本研究では、高次救命治療センターに入室した患者さんの血液検体を用いて、血液試料および血液から分画した細胞外小胞に含まれるグライコプロテオームを網羅的に測定し、内皮グリコカリックス障害と急性腎障害の発症および臨床転帰との関連を検討することを目的とします。本研究の推進により、重症患者のリスク評価に資する新たな指標を探索できる可能性があります。
研究に用いる試料・情報の項目：以下の診療情報を診療録から取得するとともに、診療で採取され保管されている残血清を用いて研究目的の測定・解析を行います。研究のために新たな採血は行いません。

1）観察時点

以下の時点における情報を収集します。

・高次救命治療センター入室時
・集中治療中
・急性腎障害発症時もしくは増悪時（KDIGO stage 上昇時）
・高次救命治療センター退室時（集中治療終了時）

２）診療録から取得する情報

基本情報

年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、家族歴、投薬歴、喫煙歴、飲酒歴

一般身体所見

呼吸数、SpO_2、心拍数、血圧、体温、身長、体重、尿量

血液検査・生化学検査・凝固検査

白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、平均赤血球容積、平均赤血球ヘモグロビン量、平均赤血球ヘモグロビン濃度、血小板数、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、クレアチニン、尿素窒素、AST、ALT、CRP、総コレステロール、トリグリセリド、HDL コレステロール、LDL コレステロール、Na、K、Cl、NT-proBNP、Fib、FDP、D-dimer、アンチトロンビンⅢ

尿検査

蛋白、尿 Na、尿 Cr、尿アルブミン、尿中 NGAL、尿中 L-FABP、尿中β2-MG、尿沈渣

画像検査

胸部 X 線写真における心胸郭比
重症度スコア
APACHE II スコア、SOFA スコア
転帰項目
入院日数、高次救命治療センター在室日数、人工呼吸器管理の有無および管理日数、血液浄化療法の有無および実施日数、入院中死亡率
３）保存残血清を用いて新たに測定・解析する項目
・血中シンデカン-1 濃度の測定（ELISA、Western blot）
・血液および血液から分画した細胞外小胞の糖タンパク質糖鎖解析（グライコプロテオミクス）
・血液および血中細胞外小胞のグライコーム解析（グライコミクス）
・血中細胞外小胞の分画、粒度分布および細胞外小胞マーカーの解析
・急性腎障害（AKI）と関連する標的糖タンパク質の量および糖鎖構造の解析
・シンデカン等の二糖分析および硫酸化解析

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：令和 8 年 11 月 6 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果およびその解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科　救急・災害医学分野
氏名：岡田　英志

連絡先

岐阜大学医学部附属病院　高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：上谷　遼

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部　研究支援係
〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸１番１
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp